



↑鍋を囲んでのパーティーにサンタクロースが登場

## ★ サ ぼんぼこ村とALTら交流 サンタクロースも飛び入り

長島町福祉作業所「ぼんぼこ村」と中学生、外国語指導助手（ALT）が12月13日、浜渡にあるぼんぼこ村の施設で交流会を行いました。この日集ったのはぼんぼこ村のメンバーや平尾中の生徒、ALTのカーティス、スペンサーら15人。ケーキや料理づくり、オセロゲームなどを通して交流を深めました。

昼食では、ぼんぼこ村が栽培した春菊、椎茸、チンゲン菜など豊富な食材に入れた鍋料理を囲んでのクリスマスパーティーを開きました。乾杯前にはサンタクロースが飛び入りしてパーティーを盛り上げていました。

ぼんぼこ村には、ハンディキャップを持つ人たちが通所し、認め合い支え合いながら地域の人々と共に生きることへの実現に向けて、日々活動を続けています。

↓赤崎橋を通りがかり、笑顔を見せる石崎さん



## ★ コ 霜害対策ほ場で収穫作業 コンテナ10箱の増収

長島町農業委員会は12月19日、ばれいしょの防霜対策として旧東町農業委員会が設置した実証展示ほ場で、ばれいしょの収穫と春ばれいしょの作付けを実施しました。このほ場は霜害の軽減のために防霜ファンを取り付けた約8アールで、昨年5月に収穫したときよりコンテナで約10箱の増収となりました。生産安定と生産者の所得向上に活用するため、残り2年の試験期間で、生育や霜害、収量、経済性の調査をしていきます。



↑ばれいしょを収穫する農業委員。増収となった

## ★ 北 1人で日本縦断歩き旅 北海道－沖縄間を往復します

北海道から沖縄までの日本縦断歩き旅をしている青年が12月19日、当町を通過していきました。千葉県出身の石崎啓之さん（35）は、昨年6月20日に札幌を出発して、太平洋側と日本海側をジグザグに4回横断し、九州は福岡－長崎－天草を通って、フェリーで諸浦港へ渡り鹿児島入りしました。約30kgのリュックを背負い、テントに寝泊りしながら1日2～30kmのペースで歩いています。沖縄へ着いたら、さらに折り返して北海道を目指すそうです。